



Overseas Fishery Cooperation Foundation of Japan

評価報告書

ソロモン諸島

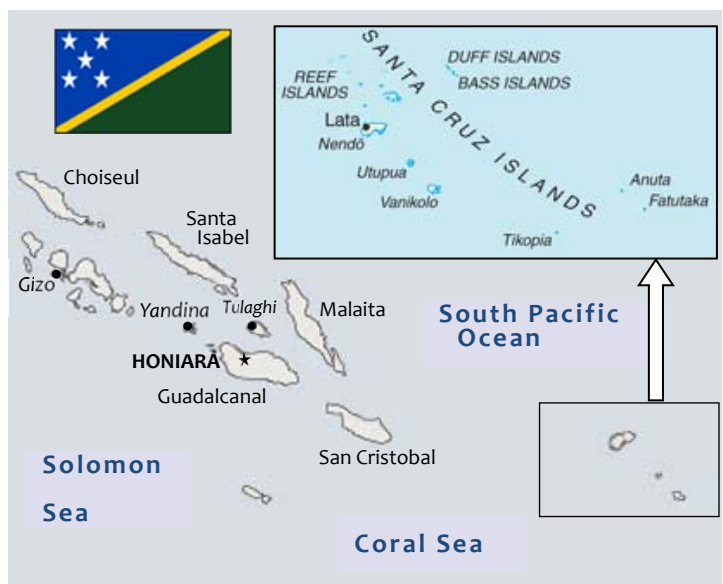
— 2024年度 地域巡回・拠点機能回復等支援事業 —
(終了時評価—2025年4月)

プロジェクトの概要

国名	ソロモン諸島
プロジェクト名	2024年度 FDAPIN VII プロジェクト (地域巡回・拠点機能回復等推進事業(太平洋地域))
実施期間	2024年7月11日(覚書署名)～2025年3月31日
覚書署名省庁名 及び 事業実施機関	覚書署名省庁：漁業海洋資源省 (MFMR : Ministry of Fisheries and Marine Resources) 実施機関：漁業海洋資源省

プロジェクト実施の経緯と背景

ソロモン諸島(以下「ソロモン」という。)政府MFMRが発表した、2019-2029年国家漁業戦略(Solomon Islands National Fisheries Policy)の養殖分野の項目には「計算によると沿岸漁業では将来の食料安全保障に必要な魚類を供給することはできず、2030年までに需要に対して供給が年間4000トン以上不足すると予測されている。将来の食料安全保障の必要条件を満たすためには、新たな魚の供給源が必要であり、養殖は将来の需要を供給する手段のひとつである。」との記述がある。



また、2024－2027年実施計画書（Corporate Plan）には、「小規模漁業者の生計多様化のためプラットフォームとしてコミュニティ漁業センターを活用する」との記述がある。

このような計画の下、MFMRは各種の漁業振興計画を実施しており、計画を推進するため水産関連施設の機能を強化し、老朽化に伴う故障や運営管理の不備を改善することを必要としている。

このため、ソロモン政府は、公益財団法人海外漁業協力財団（以下「財団」という。）に対し、水産関連施設等の機能強化及び現地技術者への技術移転並びに関連組織への指導・助言を要請した。

財団は我が国とソロモンとの漁業関係の重要性を踏まえ、同国政府の漁業振興策を支援するため、本プロジェクトを実施する方針を決定した。

目標・成果・活動内容等

上位目標	修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産性が向上し、小規模漁業が発展する。
プロジェクト目標	水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する。
成 果	<p>① アルリゴ ティラピア孵化場の機能強化及び技術指導 カウンターパートによるソーラーフリーザー及び船外機船の適切な運用・メンテナンスが可能となる。</p> <p>② 地方漁業センターの機能強化及び技術指導 カウンターパートが、ソーラーフリーザーの設置に必要な技術的知識と、ソーラーフリーザー及びボートの適切な運用・メンテナンスに習熟し、現地管理者を指導できるようになる。</p>
活 動	<p>① アルリゴ ティラピア孵化場の機能強化及び技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーフリーザー2式（1式は5KVA+500L2台）の供与 ・60馬力船外機付き23ftボート1隻の供与 ・クーラーボックス6個の供与 ・ソーラーフリーザーの設置及び船外機のメンテナンスと適切な運用に関する指導 <p>② 地方漁業センターの機能強化及び技術指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウキ漁業センター：60馬力船外機付き23ftボート1隻 ・ブアラ漁業センター：40馬力船外機付き23ftボート1隻 ソーラーフリーザー1式（3KVA+500L1台） ・セメゲ漁業センター：40馬力船外機付き23ftボート1隻 ソーラーフリーザー1式（3KVA+500L1台） ・タタンバ漁業センター：ソーラーフリーザー1式（3KVA+500L1台） ・ソーラーフリーザーの設置と必要な技術指導 ・船外機、ボート及びソーラーフリーザーのメンテナンスと適切な運用に関する指導

<p>投 入</p>	<p>財団側</p> <p>1) 専門家 計画 第 1 回巡回指導 チームリーダー／漁船機関・冷凍機器 2024 年 9 月中旬～10 月中旬（約 25 日間）</p> <p>実績 第 1 回巡回指導 チームリーダー／漁船機関・冷凍機器 2024 年 9 月 21 日～2024 年 10 月 9 日（19 日間）</p> <p>延日数 計画 25 人日 実績 19 人日（計画対比：76.0%）</p> <p>2) 主な資機材 ソーラーフリーザー5 式、船外機 4 台（60 馬力 2 ストローク 2 台、40 馬力 2 ストローク 2 台）、23ft FRP ボート 4 隻、クーラーボックス（200L）6 個、Grab Bag（非常時持出し袋）5 組</p> <p>相手国側</p> <p>1) 主なカウンターパート Deputy Director Provincial Fisheries, MFMR Principal Fisheries Officer, MFMR Principal Fisheries Officer, Refrigeration, MFMR</p> <p>2) プロジェクト関連予算、土地、施設等 ホニアラからアルリゴ孵化場への移動に必要な車両の提供 技術移転に必要な施設の提供、水産局事務所における電気・水道・電話の無償提供</p>
------------	--

評 価 事 項

◆ 妥 当 性

1. 対象国政府の水産振興政策との整合性

本プロジェクトは、MFMR が策定した Solomon Islands National Fisheries Policy 2019-2029 及び Corporate Plan 2024-2027 に基づく漁業振興策に合致した事業内容であり、妥当と判断される。

2. 協力ニーズ（対象国、対象地域）との整合性

ソロモン政府から、水産関連施設の機能強化及び現地技術者への技術移転が要請されており、事前調査において、本年度に実施した案件に関する協力ニーズが高いことが確認されている。

活動①は養殖漁家が必要としている稚魚の提供に繋がり、活動②は漁業センター機能を回復し、沿岸漁民への生計向上に貢献するものである。

3. 環境に対する配慮はなされていたか

廃棄部品等の扱いについては、ソロモンの法規に従い、常に環境保全に配慮している。

4. 水産資源に対する配慮はなされていたか

本プロジェクトを実施した結果、水産関連施設における活動が活発となり、間接的に現地零細漁業者の漁業活動が活性化することが想定される。しかし、本プロジェクトによる漁獲圧力の影響は限定的であり、水産資源への負荷は大きくならないと考えられる。

またアルリゴ ティラピア孵化場への支援によりティラピア養殖が促進され、沿岸漁民が新たな収入源を得ることにより、沿岸水域での漁獲圧が下がることが期待される。

5. その他（プロジェクト関連予算、土地、施設等受け入れ態勢は決められたとおりに実行されたか等）

コロナ禍及び南太平洋オリンピック開催のためソロモン政府の財務状況が著しく悪化した。ソロモン政府は、プロジェクト覚書における政府負担事項である本邦購送資機材の通関経費の支払いが滞り、同国の要請を受けた財団は、2021・2022年度にこれら経費を立替えた。2024年度も同国の財務状況に回復の兆しが見えないことから、供与資機材は通関経費が発生しないソロモン国内調達とした。

効率性

1. 事業費及び実施期間

事業費及び実施期間については、計画を下回ったことから、効率的であった。

2. 資機材、施設、専門家はタイミングよく投入され、期待された機能、能力を発揮していたか

資機材及び専門家は、実施計画に従いタイミングよく投入され、プロジェクト活動は計画期間内に全て完了し、それぞれ期待された機能及び能力を発揮した。

3. 移転技術はカウンターパートの習得水準に適合していたか

移転技術は、専門家が事前調査においてカウンターパートの技術水準を見極めた上で指導内容を検討しており、実施に当たっては適切に指導したことから、カウンターパートの習得水準に適合していた。

4. 状況の変化、教訓・提言等に応じて実施計画、活動項目は、適宜見直されていたか

特になし。

5. その他（プロジェクトの効率性に影響を与えたと考えられる貢献・阻害要因等）

離島案件で使用する機材の各州への海路運搬については、各州政府あるいは MFMR 所有のボートを利用したことから、海運会社に支払う国内輸送費は発生せず、MFMR の予算ひっ迫の影響を受けなかった。

◆ 有効性

1. プロジェクト目標の達成度

① プロジェクト目標の達成度

プロジェクト目標：水産関連施設が修理・修復され、当該施設の維持・管理に係る技術が向上する

計画どおり各水産関連施設の修復・機能強化を実施し、必要な技術を指導した。カウンターパートは技術を習得し、知識及び技術レベルは益々向上したことから、プロジェクトの目標は達成された。

② その他（プロジェクト目標の達成度と外部要因との関係等）

特になし。

2. プロジェクト活動項目及び期待された成果の達成度

① アルリゴ ティラピア孵化場の機能強化及び技術指導

期待された成果：カウンターパートは、ソーラーフリーザーの正しい設置要領、船外機のメンテナンスとボートの適切な運用について習熟・理解し現場の機材管理者を指導できる。

60馬力船外機付き 23ft ボート及びクーラーボックスの供与により、フィッシュミール（ティラピア幼魚用餌料の原料）加工原料魚の買付けが、また、ソーラーフリーザー2式（1式は 5KVA+500L2 台）の供与により買付けた原料魚の保存が可能となり、ティラピア養殖に活用されている。

カウンターパートには、ソーラーフリーザーの設置及びメンテナンス方法を指導した。また船外機付きボートに関して適正な運用方法を指導し、Grab Bag（非常時持出し袋）の使用方法も説明した。同カウンターパートは、これら機材の運用とメンテナンス方法を現場管理者に指導できるようになった。

② 地方漁業センターの機能強化及び技術指導

期待された成果：ソーラーフリーザーの設置及び船外機船に必要な技術的知識及びメンテナンスと適切な運用に習熟し、現地管理者を指導できるようになる。

地方漁業センター4か所に船外機付き FRP ボート及びソーラーフリーザーを供与し、氷の運搬等各種業務が円滑に実施できるようになった。

- ・アウキ漁業センター： 60馬力船外機付き 23ft ボート 1隻
- ・ブアラ漁業センター： 40馬力船外機付き 23ft ボート 1隻
ソーラーフリーザー1式（3KVA、500L 1台）
- ・セメゲ漁業センター： 40馬力船外機付き 23ft ボート 1隻
ソーラーフリーザー1式（3KVA、500L 1台）
- ・タタンバ漁業センター： ソーラーフリーザー1式（3KVA、500L 1台）

カウンターパートは、セメゲ漁業センターにて専門家からソーラーフリーザー設置方法の指導を受け、残り2か所の漁業センターではカウンターパート独自で設置した。

船外機付きボートの適正な運用や Grab Bag の使用方法は案件1のアルリゴ孵化場で指導済みであり、習熟度を確認した。またセメゲ漁業センターにあるブロックアイス製氷機の問題が判明したことから、後日カウンターパートのみでの修理を可能とするべく修理方法を説明した。

◆ インパクト

1. プロジェクト上位目標の達成に対し、プロジェクト目標の達成の効果はどの程度見込まれるか

本プロジェクトの実施により、水産関連施設の機能が強化され、カウンターパートは施設管理者に対する指導方法を習得した。このことにより、施設の管理・運営能力が向上し、プロジェクト目標は達成された。

今後、施設が順調に稼働することが期待され、上位目標である「修理・修復対象施設周辺地域の漁業生産の増加、小規模漁業の発展」及び「2024-2027年実施計画書」等に掲げられた「小規模漁業者の生計多様化のためプラットフォームとしてコミュニティ漁業センターを推進する」の達成に寄与する。

2. プロジェクトは相手国・対象地域の政策形成、社会・経済等でどのような直接的・間接的な効果または負の影響が見込まれるか

本プロジェクトの実施により、養殖施設及び地方漁業センターの機能が強化され、沿岸漁業振興事業がより効率的に進められることで、沿岸漁業が促進される。

また、漁業センターに供与した機材が活用されることにより、漁獲物受入量の増加や、氷使用により漁獲物の販売可能期間が延びることにより、沿岸漁民の所得向上が期待できる。

これらにより、対象地域の経済活性化への直接的・間接的な効果の発現が見込まれる。

3. その他（ターゲットグループに対するインパクトや、プロジェクトの計画当初予見できなかった効果または負の影響が見込まれるか等）

特になし。

◆ 持続性

1. プロジェクト終了後もカウンターパート及び供与された資機材は有効に活用されるか

カウンターパートは水産局の職員で、プロジェクト終了後も引き続き対象施設の管理を担当する予定である。

供与された資機材は、水産関連施設の稼働及び運営・管理に必要なものであり、適切な保管方法も指導したことから、プロジェクト終了後も有効に活用される。

2. プロジェクト終了後も効果は持続される見込みか

各水産関連施設の機械類に問題が発生した際は、MFMR の代わりに州政府が旅費を負担し、カウンターパートが現地に出張し問題を解決する体制が整っていることから、本プロジェクト終了後も、この効果は持続的に発揮される見込みである。

3. その他（持続性に影響を与えると考えられる貢献・阻害要因等）

ソロモン政府の予算ひっ迫が地方漁業センターの活動維持に影響を与えており、引き続き注視していく必要がある。

以上